磯部小だより

令和３年度第 34 号
令和４年１月 14 日（金）
校長　横山　堅志

金色有功章をいただきました

年末に日本赤十字社より本校に『金色有功章』の盾と記章、ペナントが届きました。これは、JRC（青少年赤十字）に児童会が２０年間継続して加盟し、多年にわたり赤十字事業の進展に貢献してきたことが認められた証です。青少年赤十字の目的は、「誰の心にもある困っている人や苦しんでいる人を見たら何かの役に立つことをしてあげたいという気持ちを素直に行動に移す『赤十字』の人道のこころを大切にして、ひとびとの幸せや世界の平和のために尽くせる人間になるよう努力することを目的としています。」と青少年赤十字ハンドブックに書かれています。毎年１学期に、各学級で児童が青少年赤十字のこの理念を理解し、理念に基づいて活動することを誓ってきました。本校が目指す児童像「思いあえる子」とも一致する考え方です。今後も、この章を励みにして、児童の思いやりの心の育成に努めて参ります。

第二中学校入学説明会

１２日（水）午後、第二中学校の入学説明会が同校体育館にて開催されました。説明会には、本校の６年生が参加しました。他にも、原市小学校、東横野小学校、後閑小学校、小野小学校（藤岡）の６年生が参加しました。始めに、高山校長先生よりご挨拶がありました。次に、学校の概要や教育課程、学校生活、校則などの説明がありました。途中、生徒会による学校行事の紹介や部活動の紹介などもありました。どの学校の６年生もみな真剣な表情で、説明を聞いていました。感染症予防のため、予定より短い時間の開催となりました。

兄姉が既に第二中学校を卒業したり、在学中であったりするご家庭は中学校生活に対してある程度の認識がありますが、初めて中学校に進学するご家庭は、この説明会が大変参考になったと思います。今後も心配なことや聞いてみたいことができたときには、遠慮無く小学校または第二中学校へ質問して欲しいと思います。６年生は、進学に向けての心身の準備もしっかりしていきましょう。

人権標語

１１月１５日（月）～１２月１４日（火）の人権学習強調月間に取り組んだ人権標語と人権作文（裏面）の代表作品が決まり、保健室前の廊下に掲示されました。また、人権ポスターの代表作品も決まりました。どれも真剣に考えた素晴らしい作品ばかりです。大変よくできました。

【ポスターの代表　４年　磯野　隼杜】

いわないで　いやなことばは　きずつくよ	１年　中島　　温
あいさつは　げんきになれる　おまじない	１年　五十嵐愛莉
もってますか　やさしい心と　いいえがお	２年　鈴木　奏心
やさしいことばで　えがおの花を　さかせよう	２年　津金澤美羽
だいじょうぶ　みんなもってる　やさしい心	３年　神谷　裕人
言われても　うれしいのかな？　その言葉	３年　吉澤　愛咲
助け合おう　みんなの命　大切だから	４年　茂木　皇征
しってるよ　マスクの中には　いつもの笑顔	４年　本田　小川
みんなで作ろう　思いやりあふれる　友だちの輪	５年　岡村　結斗
「あいつきらい。」言ってもいいの？　その言葉	５年　村井田実璃
暗やみを　明るくともす　優しい言葉	６年　津金澤昊汰
聞かせてね　君のこと　聞いてほしいな　ぼくのこと	６年　磯野　太志

人権について

安中市立磯部小学校
六年　須藤　心結

私は今回の人権月間をきっかけに、人権について考えてみました。

人権とは、全員が幸せに生活できる権利のことだと思います。人権が無い世界だと、いじめが当たり前のように起こってしまったり、生きていることが辛くて「死にたい。」と思ってしまったりすることがあります。私がもしいじめを見ている側になっていたら、まず大人の人に相談し、見ているだけでなく、いじめている人に勇気をもって注意してみようと思います。見ているだけでは、いじめの一つになってしまいます。

次に、いじめられている側になっていたら、一人で抱え込まずに大人の人に相談して、何があっても家族を味方にし、死にたいと思わないようにしようと思います。

次に、いじめる側になっていたら、人権ビデオをよく思い出して、自分をもう一度考え直そうと思います。私の今までを振り返ってみると、ただのおふざけでも相手を傷つけてしまっていたり、あおり言葉で相手を傷つけてしまったり、同じ考えをもつ人で一人を責めてしまったりした経験があります。私は、これからの生活の中で、「相手はこれを言ったらどう思うか」「自分が言われたらどう思うか」を考えてから他の人と話そうと思います。

しかし、いじめをしている側の人は、いじめを分かっていても、やっていることはいじめだと思っていないことが多くあります。なので、見ている人はいじめている人に教えてあげることが大切なのです。

今、ネットのいじめで自分で自分の命を落としてしまう人もいます。ネットのいじめとは、インターネット上での書き込みで人を傷つけてしまったり、本人の顔が見えないからと強気になり、本人が傷つく言葉を送ってしまったりすることです。

さらにネットの世界には、もう一つ怖いことがあります。それは、子どもが好きそうなサイトを作り、個人情報をのせてもらい、その個人情報を悪用するというものです。個人情報を悪用して、嫌な思いをさせることも人権を傷つけることだと思います。このようなことを防ぐには、入りたいサイトがあった時は、まず親に安全性を確認してもらってから入ることが大切です。また、誰もが人権を大切にしようという気持ちをもっていればこのようなことも無くなると思います。

私は、これからも人権について考えることを続け、不幸な人がいなくて、誰かが傷つくようなことを全て防ぐことのできる世界にしていきたいです。